

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
国際交流論	1年次 後期	必修	講義	1単位(15時間)	小林 房代 ※
授 業 概 要					
<p>社会のグローバル化が進むなかで、国レベルの関係者同士の外交だけでなく、一般市民が交流して、異文化に対する理解を深める必要性が高まってきた。様々な国の人との相互理解を促進するために国や地域によって異なる文化的背景を知り、「国際交流」「多文化共生」の必要性を理解する。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバリゼーションの現状、国際交流の意義を知る。 2. 国や地域によって異なる文化的背景、価値観があることを知り、それを尊重する重要性を述べる。 3. 日本で暮らす外国人の生活を知る。 4. 外国人との交流を体験する。 					
実務経験のある教員					
小林房代：自身の国際交流・国際支援活動の経験を踏まえて教授・ファシリテートする。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-8	<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバリゼーションとは 2. 国際交流のしくみ 3. 21世紀の国際交流の課題 4. 多文化共生と異文化理解 5. 日本で暮らす外国人の理解 地域で生活する外国人の文化や生活、価値観の理解 日本で生活していて困ったこと、良かったこと 6. 異文化理解、多文化共生をすすめるために私たちにできること 7. 国際交流体験 				小林 房代 ※ ダシルワ プブドゥ 他
学 習 方 法					
講義 演習					
評 価 方 法					
[評価方法] レポート、グループ発表、グループワーク参加度など					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
[教科書] 災害看護学・国際看護学 竹下 喜久子 医学書院 [参考書]					